



SPRING HILL NEWS LETTER

ピタゴラスの定義??

皆さま知ってました??これは10年前に知り得た情報です。(超貴重な!)

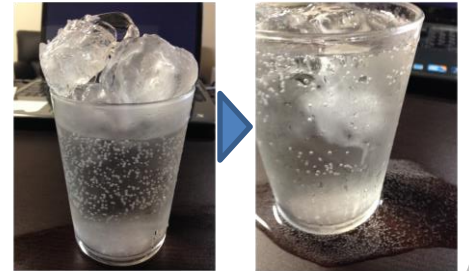
ここ最近、このようなことが言われています。温暖化の影響で北極の氷が溶けている。よって海面の水位が上がっている。二酸化炭素の影響で大気圏に穴が開き、紫外線かなにか(?有毒な光?)が地球に降り注いでいる。なので、世界は温暖化を止めなければいけない!!

これって事実だと思います??ある消息筋から、実は「氷は溶けても水面は上がらない」との情報を仕入れました。これが10年前の事です。なんとなく先日この事実を思い出したのでやってみました。結果は右図の通りです・・・。豪快にこぼれました・・・。

本来は、水面に浮いている氷の重力?がすでに水面に伝わっているので、実際には氷が溶けても水面は上昇しません。ここで何が言いたいかですが、温暖化しても海面は上昇しないと言う事です。

ではなぜマスコミはこのような報道をするのか??これは、きっと何かありますね・・・。ただ、それ以上にお伝えしたい事実は、

一気に氷が溶けると「海面は上がるかもしれない!」この事実です。上記がその証拠です。



ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

英語での「予約の仕方」～レストラン・ホテル編～

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

実際に「予約する」場合の表現方法

先月の通り、予約する場合には

「make a reservation/ booking」を使います。

アイドゥ ライク トゥー メイク ア リザベーション・・・

I'd like to make a reservation・・・

そしてそれに続いて「日程・時間・人数」を伝える必要があります。(あたりまえ)そしてその方法は日程 for/on・時間 at・人数 for を必要に応じて盛り込む必要があります。以下、こんな感じですかね?

I'd like to make a reservation for five (people) at seven (for) tonight. (今日の夜7時に5人で予約をしたいです)

※アメリカ英語とイギリス英語では多少言い回しが変わります。が、伝わればいいですよ・・・



今月の本の紹介：売れる店長の全技術

●要約：店長（上司）とは、自分が優れているだけではなく、他のスタッフのポテンシャルを最大限発揮させ、店（組織）全体の能力の底上げをできる人になるべきである。この書籍はそれらの店長の特徴をまとめたものです。

①「おかげさまで」のフレーズを使う。この後には「肯定的な言葉が続く」ので、現状が否定的な状況でも続く言葉は肯定的になるため、自然と良い事を言うようになり、自分にも周りにも良い影響を与える事になる。

②「ついで」の声掛けをする。休憩中などでコンビニに行く際に、「何か買ってきましょうか?」とついでに声掛けをする事でチームの一体感ができます。これができている職場はスタッフのやる気が高い傾向があり、店長など上の人間が率先してやることで徐々に職場に浸透し、良い影響をもたらすとの事です。

③スタッフ（部下）に「教えてほしい」「助けてほしい」と素直に話す。仮に知っている内容でもスタッフに尋ねるようにする。それによってスタッフは頼られている感・求められている感を実感し、ヤルキにつながる事になる。

④女性スタッフに気配りをして働きやすい環境を作る。ビジネス拡大には女性の力はもはや必要不可欠です。その女性にいかに気持ちよく働いてもらうか?仕事のパフォーマンスはこの「働きやすさ」に比例します。大きなプレッシャーを与えずに、細かい気配りと関心を持っている事を伝えるのが「満足度アップ」につながります。